

青少年専門員だより



はじける笑顔が学び舎に戻り、令和8年度がスタートしました

入学式に合わせて桜がほころび、新しい年度が始まりました。学校に向かう子どもたちの姿からは、新たな出会いへの期待と、少しの不安が入り混じった初々しさが伝わってきます。

それでも、日を追うごとに表情は和らぎ、友だちとの関りや学びの中で、自信を少しずつ積み重ねているように感じます。この一年、間違いや失敗を恐れずに挑戦していく経験を通して、子どもたちは、さらに大きく成長していくことと思います。

さて、令和7年度末の人事異動により、課長に大場智美（前産業創造振興課副主幹）、課長補佐に長岡美佐保（前総務課総務調整専門員）が着任しました。また、3月末で退任しました峯浩明青少年専門員の後任として、小野明彦青少年専門員（前長井小学校長）が着任しました。

地域の宝である児童・生徒の健全育成には、置賜が一つになって力を合わせていくことが大切です。今年度も、皆様とともに青少年の健全育成に努めて参りますので、これまで同様どうぞよろしく願いいたします。

〈令和8年度 置賜地区青少年育成連絡協議会事務局〉

| | |
|-----------------------|--------|
| 置賜総合支庁保健福祉環境部こども家庭支援課 | |
| 課長 | 大場 智美 |
| 課長補佐 | 長岡 美佐保 |
| 主事 | 布川 愛子 |
| 青少年専門員 | 板垣 健 |
| 青少年専門員 | 小野 明彦 |



〈連絡先〉 Tel: 0238-26-6027 (内線 435)

Fax: 0238-24-2016



E-mail: itagakit2025@pref.yamagata.jp または onoa2026@pref.yamagata.jp

※ 青少年健全育成にかかわる動向を、会員の皆様に広く迅速にお知らせできるように、今年度も「青少年専門員だより」を隔月で発行します。青少年育成の関連団体の会長・副会長・行政担当者・推進員様宛にお送りいたしますので、ご高覧くださいますようお願いいたします。

笑顔の新学期にするために

～ 子どもの不安が高まりやすいこの時期に大切にしたいこと ～



1 親や周りの大人がどっしり構える

新しい環境に踏み出す4月は、子どもたちが不安を抱えやすい時期です。もし、不安な様子が見られても、大人が慌ててしまうと、子どもはさらに揺れてしまいます。

環境の変化や人間関係の緊張でぐらぐらしている子どもを支えるためには、その不安に巻き込まれず、まず大人が落ち着いて寄り添うことが大切です。

2 子どものエネルギーを増やす

子どもが漠然とした不安を口にしたときは、過度に反応せず、まずはその気持ちをそのまま受け止めます。先回りして解決策を与えすぎることは、子どもの成長の機会を奪ってしまうこともあります。

不安を感じるのは自然なことだと気づかせながら、食事・睡眠・生活リズムなど、日々のエネルギーの源を整えることを丁寧にサポートしていきたいものです。

免許はなくても ドライバー ルールを守って 責任ある運転を!



～ 2026年4月1日から自転車にも「青切符」が適用されています ～

- **青切符**とは、交通違反をした時に発行される**交通反則通告書**です。
- **青切符**の対象は、**16歳以上の自転車運転手**です。

※ 「自転車の交通ルール」(2026.4.3更新)が警視庁より公開されています。



毎月第3日曜日は「家庭の日」

上段が月別推進テーマ
下段が行動実践事例

山形県では、平成22年3月に「山形県子育て基本条例」を制定しました。

条例には、子育てにおいて家庭が果たす役割が重要であることから、家族のきずなを大切に
する「家庭の日」を設けました。

毎月第3日曜日を「家庭の日」として、家族の語らいや親子のふれあいをとおして、子ども
を育む家族の素晴らしさや家庭の大切さを家庭や地域で見つめ直す運動を進めています。

4
月

「社会のルールや マナーを身につける」

- ・家庭のルールを
きめましょう。
まずはあいさつから。



5
月

「家族で一緒に過ごす 時間を増やす」

- ・家族そろって
食事をしましょう。



家族そろって笑顔で過ごす時間をつくりましょう!!

声を聴きたい
こどもたちの 声を聴きたい
教室に響く 乾いた笑い声
こどもたちの 声を聴きたい
体育館にこだまする
突き抜けるような あの歓声
こどもたちの 声を聴きたい
胸の奥にある
声にならない 小さな声



ひとひらの詩
〈四月〉

次号は、六月中旬
に発行予定です。

